

2/14(土)

菊池市まちづくり生涯学習フェスティバル

菊池市文化会館で、市内外から約1,000人が参加して、菊池市まちづくり生涯学習フェスティバルが開催されました。大ホールでは、各団体によるステージ発表が行われ、和太鼓演奏、マジックショー、狂言など、それぞれ日ごろの練習の成果をあますことなく発揮し、惜しみない拍手が送られていました。講演会では、テレビでおなじみのフジテレビアナウンサー笠井信輔さんが、「テレビ局と私の内緒話」

大ホールのステージ発表



小ホールの作品展示



と題して講演しました。様々な事件や災害に対する携わり方や報道のあり方などを含め、普段は聞くことのできない数々の内緒話の披露があり、多くの参加者の共感を呼んでいました。

また、小ホールでは、各種公民館講座関連のコーナーとして、活け花や習字などの作品が数多く展示されました。いずれも、長い時間をかけて丁寧に作成された逸品揃いの作品ということで、多くの人が足を止め、熱心に見学していました。

2/16(月) 双羽幼稚園児がサッカーで交流



3月14日から菊池市でキャンプ中の韓国プロサッカー全北現代(チョンブク・ヒョンデ)モータースの選手12人と、双羽幼稚園の園児約60人が、七城運動公園サッカー場でスポーツ交流をしました。選手の練習が休みの日に合わせ行われたもので、子どもたちにもサッカーの楽しさを知ってもらおうと実現しました。

選手がリフティングを披露したり、園児とボール遊びやミニゲームなどをしてスポーツを通じた国際交流となりました。

園児とボール遊びをする韓国のプロサッカー選手

2/22(日)

第19回菊池市民駅伝大会

菊池市の市民広場をスタート・ゴールに全8区間、21.2kmのコースで行われ、各地区から11チームが参加して健脚を競いました。選手選考などに協力いただいた各地区の体育委員さん、ありがとうございました。上位の結果と区間賞は次のとおりです。(敬称略)

総合順位 優勝 菊之池体育会

2位 花房A

3位 隈府2区

区間賞 1区 荒木栄輔(高野瀬)

2区 田中正章(菊之池)

3区 池田二郎(菊之池)



元気にスタートする小学生区間の1区ランナー

4区 中山博文(隈府2区)

5区 堀端愛莉(高野瀬)

6区 前原大佑(花房A)

7区 中山英章(花房B)

8区 東勝博(菊之池)

1/31(土)~2/2(月) 市民交流団が遠野市と交流

友好都市の岩手県遠野市を、菊池市交流団員(堀野誠也団長)6人が訪問し、地域の人たちとの交流を行いました。菊池市市民交流の会(立山和信会長)が募集したもので、今回の参加者は、今後同会のメンバーとなり交流活動を続けます。参加者のひとり、中山玲子さんの研修報告を紹介します。



研修に参加した皆さん(遠野市の語り部の皆さんとともに伝承園にて)

遠野市との市民交流団に参加して(平成20年度菊池市交流団員 中山玲子)

2泊3日の日程で研修に参加しました。姉妹都市・西米良村の方6人も一緒に参加し、主に地域住民の誇れるふるさとづくりを学びました。また、グリーンツーリズムを中心とした地域づくり、特にかやぶきの家づくり、かやの育て方なども学びました。「現在は女性、子どもが元気なことが大変重要で、お年寄りが生き生きしていることが大切」「この人についていけば明日は良くなると思わせる説得力」「自分も地域のひとりと思わせる力」「一体感が伝わるリーダーの存在」などなど、何を聞いても驚くばかりでした。

私たちも市民と行政が一体となって、豊かな自然や文化財、名所、旧跡、伝統を活かし、独自の文化の確立、農業を基軸にした安全安心の農畜産品の地産地消、埋もれた観光地の再興ができればと思います。

また、遠野の皆さんはもちろん、一面の雪にも大歓迎してもらい、毎日サポートしていただいた遠野の交流会員の皆さんには大変感激しました。

2/12(木) 平成20年度熊本県農業コンクール大会表彰

川口秀一会長・城弘光副会長



熊本県農業コンクール大会入賞者の表彰式が、熊本市内のホテルで行われ、菊池市からも3部門で表彰されました。この大会は、熊本の農業や農村社会の振興・発展に積極的に取り組み、豊かで住みよい地域づくりに貢献している優秀な農業経営者・組織などが表彰されるものです。菊池市の表彰者・団体は次のとおりです。

●組織部門・秀賞

JA 菊池野菜園芸部ごぼう部会(川口秀一会長)

部会員全員がエコファーマーを取得し、畜産農家との耕畜連携を積極的に進めるなど、環境保全型農業を推進し、全国的に「菊池水田ごぼう」のブランド化を確立し、所得の向上を達成しました。また、本部会は、JA 菊池では初となる女性部会を設立し、独自のごぼうレシピ開発にも取り組んでいます。

●新人王部門・特別賞

田中幸輝さん・直美さん

田中幸輝さん・直美さん



祖父の代から始めた養豚経営を、幸輝さんが就農後、母豚のグループ管理方式を採用したり、冷暖房など空調設備を充実させたコンテナ豚舎を導入するなどして、課題だった防疫対策にもめどをつけ、衛生環境の改善を行いました。また、地域貢献として、日本養豚生産者協会に加入し、青年部の役員として全国の若手養豚家の育成にも力を注いでいます。

●食農部門賞・優良賞

原 誠一さん・文代さん

原 誠一さん・文代さん



一般消費者を農場に招き、田植え・稲刈りの農作業体験を通じた農業理解活動や、消費者の求める安全安心な無農薬・無化学肥料による米作りなどを通して、食育活動に励んでいます。また、「菊七稲作研究会」や「菊池環境保全型農業技術研究会」の各種組織で、技術や経営の研鑽を積極的に図り、レベルアップにも努めています。